



校章の由来

六角形の星と宮城県の宮で構成されている。  
星は水産の水を表現したもので、全地域にはばたく水産健児の意気を示したもので、大正初期に制定されたものである。

望めば遠し 太平洋  
金波は踊る 海の幸  
科学の力 傾けて  
宝庫開かん 使命こそ  
我等が担う 誇なる  
おお 気仙沼向洋高

世界にひびく 水産の  
誉れを挙げん 我等なり  
暖流遙か 南より  
盛り上り来る 八百潮の  
高鳴ることく 讚えなん  
おお 気仙沼向洋高

鼎が浦に 生いたちて  
建学ここに 幾星霜  
久遠の歴史 固めつつ  
海の文化の 象徴と  
湾頭高く 輝ける  
おお 気仙沼向洋高

## 校歌

訓 校  
向洋三心  
尚志  
創行  
力造



## 全国水産・海洋高等学校 生徒研究発表東北地区大会にて 優秀賞受賞&全国大会出場!

10月31日本校を会場に、東北地区の水産・海洋高等学校9校の代表生徒が、日頃の学習・研究活動の成果を発表しました。産業経済科3年熊谷七海（くまがいななみ）さん、藤田佳歩（ふじたかほ）さんの「クエン酸抽出したウニ棘色素のメラニン生成抑制機能」の発表が見事優秀賞に輝き、全国大会への出場が決定しました。12月12日愛媛県立宇和島水産高校で開催された全国大会では、堂々とした発表で奨励賞を受賞しました。



東北地区大会第2位!

## ラグビー部がテレビ朝日「ナニコレ珍百景」で 特集されました!

少人数で頑張っている部活動にスポットをあてる企画内で、活動を取り上げていただきました。





## 私たちも一緒に

PTA会長 村上 真人

卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。

高校生活三年間、完全燃焼できたでしょうか？十八歳成人という社会となり、責任を持たなければいけない心構えは高校生活で身についたでしょうか？高校生になり、どんな心が成長していく君たちをうれしく思う一方で聞きたくても聞けなくなる場面が増えたように感じます。

自分で将来のことを決め、進んでいく姿に親も子離れするんだという気持ちが大きく、強く変わっていきます。みんなのおかげで、親も成長するんです。保護者としての私たちは、子どもだと思っていた皆さんが成長し、大人になっていく姿を見守ってきました。それはこれからも変わりません。もしかしたら、社会人になった君たちに叱ってもらう時が来るかも知れない。だってもう大人だからね。苦しいこともあるかも知れませんが、周りをしっかり見てください。助けてくれる人は必ずいるはずですよ。私たちも心の片隅に忘れずにいさせてくださいね。いつまでも味方だからね。

一年生、二年生の皆さん。先輩達が出発したら、みんなの番です。新入生の自慢できる先輩になれるように目標に向かって進んでいきましょう！次の学年での活躍を楽しみにしていますよ！

保護者の皆様。日頃よりPTA活動にご理解いただき、ご家庭でお子様のサポートをいただきまして、この場を借りて感謝を申し上げます。

今の時代、少子化が進み、生徒数の減少によりたくさんのご負担をおかけしています。学校、PTA、生徒の密な関係は、今の少ないPTAだからこそ築いていけるものだと感じています。負担と感じない、楽しいPTA活動を行っていききたいと事務局の先生方と日々アイデアを出し合って進めています。

昔はもつと活発だったPTA活動も以前のようにはまだまだ戻っていません。皆さんのいろんな考え、気持ちを取りこぼさないよう、協力していきましょう。

楽しい一年間ありがとうございました。



## 親子の対話と夢の実現

校長 杉山 秀樹

お子様のご卒業、心からお祝い申し上げます。

今年度の着任以来、私は生徒たちに「夢」を持つことの大切さを伝えてまいりました。

「自分の人生はどうなるのだろうか」と、漠然と不安になる生徒もいるかもしれません。しかし、自分の理想の将来像や成し遂げたいことを考えること、つまり夢を持つことは、わくわくする気分になり、きつと毎日がポジティブで楽しくなると思います。そして、夢を実現するために何が必要なのかを、自分で探し、見つけることに意識が向かい、日々の生活に充実感を味わうことができるでしょう。

さて、高校時代という大人の階段を上る途中で、自我に思い悩む子供たちに、私たちは親として、教師として何ができるのでしょうか。

日本人メジャーリーガーとして活躍する大谷翔平選手は、幼い頃から家族とのコミュニケーションを大切にしていたそうです。「野球ノート」は、父親と息子の野球における交換日記のようなものでした。野球

のコーチだった父親がその日の評価やアドバイスを書き、大谷選手は試合での反省や今後の課題を記しました。そして自分自身の夢を描き、それを実現するためのロードマップをひいて実現させています。夢を持つ未来を変える力は本当に大きいものです。

このエピソードから、親子の対話は非常に大事なだと実感しています。子供の夢によくよく耳を傾けて下さい。そしてその本気度と可能性を信じて背中を押してあげましょう。何を目指すにせよ、どんな職業に就くにせよ、自分を高める研鑽が必要であること、そのためには今どんな勉強をしたらよいかを示してあげる事が、大人である親や教師の務めであると思います。

本校では、高い専門性を身につけ、社会に貢献できる産業人材を育成しています。教職員一同、お子様の夢の実現に全力を尽くします。保護者の皆様には、今後ともご協力を賜りますようお願いいたします。

# PTA専門部活動報告

## 一年を振り返って

調査広報委員長 佐々木 孝志

息子が向洋高校に入学してからは、はや一年が過ぎ去ろうとしています。調査広報委員としてPTA役員に選任されたときは、向洋高校の内容が全く分からない私が果たして務まるか不安ながら活動したのを覚えています。

それでも広報担当の仁一先生、渡邊先生をはじめ、他の調査広報の皆様、そして会報に欠かせない写真を撮影していただいた皆様のお陰でPTA会報「こうよう」を発行することができました。

学校行事の紹介や体育祭、そして向洋祭では、生徒達の生き生きとした姿や一致団結した様子を。また、実業高校でしか見られない各科の実習風景や宮城丸では、生徒達が真剣な眼差しで実習に取り組んでいる様子をどうやったらうまく発信できるかを一生懸命、先生方や委員の皆様と考えていただき、心より感謝申し上げます。

会報「こうよう」を通じて向洋高校の素晴らしさや魅力が皆様に伝われば幸いです。



紙面の校正

## 一年を振り返って

健全育成委員長 川村 慎太郎

今年度の健全育成委員会は「時代に沿った健全育成のかたちへ」【継続できる無理のない範囲での活動計画で行う】を活動目標として行ってきました。

夏休み中に行われた学校美化運動においては、暑い中にも関わらず生徒たちも含め多くの方々に参加をいただき、校内の隅々までを迅速に清掃することができました。

向洋祭PTAブースでは、クラス動画を観ながら休憩できる喫茶スペースとして運営しましたが、開店から閉店までの間スペース内に入りきれない程のご来場をいただき、本当にたくさんの方々に楽しんでいただけたのだと思います。

今年度も健全育成委員会の活動を成功の形で終えることができましたが、それに至るには会議や準備の段階から各委員さんや先生方、生徒たちも含め皆で一つのものを作り上げる力があつたからこそだと思います。私自身もこの一年の様々な活動を通して、良い経験となり、人として改めて学べる機会となりました。

今年一年間皆さんと共に気仙沼向洋高校のPTAの一員として活動できたことに改めて感謝いたします。我が家の子供は今年度の卒業となるため、PTAとしてはいったんの区切りとなりますが、どういった形で今後も向洋高校の活動に関わっていったらと思いますので、その際にはよろしくお願いいたします。改めて皆さん今年一年ありがとうございました。



向洋祭PTAブース設営

学校美化運動

## 進路対策委員会の活動報告

進路対策委員長 小野寺 みどり

十月三十一日に全国水産・海洋高等学校生徒研究発表東北地区大会が本校で行われ、今季の活動として参観しました。各校の表現力の素晴らしさに驚き、先輩方から代々受け継いでいる研究もあり、機会があれば是非委員以外の保護者の皆様にも参観していただきたいと思いました。

十一月二日PTA研修旅行を実施いたしました。当初予定していた日程はインフルエンザ流行のため延期となりましたが、お菓子の買い出しや袋詰め作業は短時間で準備することができました。行き先、日程を決める話し合いでは活発な意見が出され、私は進路対策委員二年目ですが、去年同様今年の委員の皆様もすばらしいなと思います。PTA研修旅行は本当に楽しいです。来年以降もずっと存続していただきたいと思います。来年の進路対策委員会も活発な活動を期待しています。



研修旅行

# ご卒業おめでとうございます



ご卒業おめでとうございます。

三学年主任 菅原 健太郎

三年間を通じ、保護者の皆様には多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。学年主任としてお子様と共に歩み、その成長を間近で見られたことは、私にとって大きな喜びでした。

この三年間振り返ると、成果発表会への参加や部活動、資格取得などを目標に最後まで一生懸命取り組む姿勢が身につく、確かな成長を感じています。進路相談では、高校で学んだことを生かせる仕事を希望する生徒が多く、その姿勢に頼もしさを感じました。学びを将来につなげようとする意欲を見せてくれたことは非常に誇らしく、これまでの努力が確かな自信となっていることを実感しました。

卒業後は、それぞれ新しい生活が始まります。直接生徒のみなさんと接する機会は減りますが、これまで学んだことと素直な心を大切に、精一杯頑張ってくれと信じています。保護者の皆様におかれましても、引き続き温かく見守っていただければ幸いです。

最後になりますが、保護者の皆様のご理解とご支援があったからこそ、今日の卒業を迎えることができました。心より御礼申し上げます。



三年間

情報海洋科三年担任 青木 孝輔

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様、三年間ご支援ありがとうございました。三年間卒業生の皆さんと関わる中で、私も生徒とともに成長できたのではないかと感じております。入学から卒業まで、この学年の担任として関わることができて幸せでした。本当にありがとうございます。

さて、卒業生の皆さん、三年間の高校生活はいかがでしたか。振り返ると幸せな思い出だけではなく、思い出したくない思い出などもあるのではないのでしょうか。それらの思い出のすべてが世界中であなしか持つていない大切なものです。重い瞼をこじ開けて受けた授業。暑さや寒さに耐えながら打ち込んだ部活動。学校全体で盛り上がった体育祭や文化祭。友達と寄り道をして帰った帰り道。想像しながら書いてみましたが、どれも素敵ですね。青春っていいなあと思いました。

これらの思い出を尊く思うのは、高校生活がとても短く、必ず終わりが来るからです。たった三年間の限られた時間の中で全力を注いで打ち込んだ経験だからこそ輝く思い出として残るのではないのでしょうか。縁



があつて同級生となった友人たちと様々なことに打ち込んだこの三年間の経験が、皆さんの今後の人生の糧になることを願っています。これからの長い人生、体に気を付けてね。自分に優しく、相手にも優しく優しくしようね。誰からも愛される温かい人になってくれることを祈っています。

# 令和7年度 卒業生の皆さん



## 感謝

産業経済科三年担任 袖野 亜樹

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。入学したあの日から、三年間を経て、この学び舎を旅立つ皆さん。別れの寂しさもありますが、この先、それぞれの未来が明るく輝き続けることを想像するだけで、胸が躍り喜びが溢れてきます。

これまでの十八年間、どれだけの人達に支えられ、守られて生きてきたのか・・・まだまだ実感できないかもしれないですね。私も親元を離れて自立し、親になるまでは気づきもしなかったことです。朝起きると食事が用意されていて、洗濯済みの衣服に袖を通して登校する日々。必要な生活用品を揃えてもらい、習いや部活動の送迎をしてもらって・・・それが皆さんにとっての当たり前、の日常であったと思います。しかし、皆さんにとって「当たり前」の日々は、皆さんの力だけで築き上げられたものではありませんよね。仕事や家事で忙しい日々の中、ご家族が献身的に皆さんをサポートしてくださっていたのではないのでしょうか。

あなただけが与えられてばかりいたわけではなく、ご家族もあなたの行動に励まされたり、心救われたり、あなたと過ごす日々が生きる活

力になっていたかもしれません。皆さんに多くのサポーターがいたように、皆さんもまた誰かのサポーターとして大事な存在であることを忘れないでください。周囲への感謝を忘れず、また、感謝される存在であり続けてくれることを願っています。三年間、ありがとうございました。



## ともに歩んだ日々を力に

機械技術科三年担任 及川 滋

卒業生と保護者の皆さま、ご卒業おめでとうございます。これから生徒たちはそれぞれの夢や目標に向かって、新しい一歩を踏み出そうとしています。入学したころのあどけない表情が、今では自信に満ちた表情へと変わり、一人ひとりが自分の道を見つけようとする姿に大きな成長を感じます。

授業の中では、なかなか答えが見つからずに悩んでいた生徒が、仲間と意見を交わすうちに少しずつ表情を明るくさせ、ひらめいたように問題に向かう姿があり、学ぶことの楽しさにつながったように感じました。行事の準備では、意見がぶつかりながらも、最後には笑顔でやり遂げた姿にも、互いを思いやる力の成長を感じました。

こうして皆さんの経験を積み重ねながら成長してきた生徒たちを支援てくださったのが、保護者の皆様です。どんな時も温かく見守ってくださり、本当にありがとうございました。

卒業は一つの区切りであり、新しい出発の始まりでもあります。高校での学びと仲間との絆、支えてくれた方々への感謝を胸に、自分らしい未来へと力強く歩んでいってほしい。

と思います。これからの皆さんの笑顔が、周りの人々にも希望と勇気を届けてくれることでしょう。皆さんのこれからの活躍を、心から楽しみにしています。そして、どんな時も自分を信じ、支え合う仲間とのつながりを忘れずに歩んでいってください。



ワクワク!  
**学校行事**

下半期編



10月7日~11月19日  
宮城丸長期航海



マグロにストラップを通します



六分儀高度測定



ハッピービールで乾杯!

12月9日~12日  
2学年修学旅行



清水寺



AEDの使い方も確認



12月9日~11日  
1学年救命講習

皆さん真剣に受講していました



12月17日  
3学年スーツ着こなしセミナー

スーツの種類や着回し方について教わりました



こうよう 第49号 6

2026.3.1



10月17日  
校内発表



自熱したクイズ大会



向洋祭実行委員長挨拶



向洋スマブラ王決定戦表彰式



美声が響き渡ったカラオケ大会



軽音楽部による演奏



# 向洋祭2025

## 遊具無極

## ～楽しんだもん勝ち～



おいしそうな焼きそば!

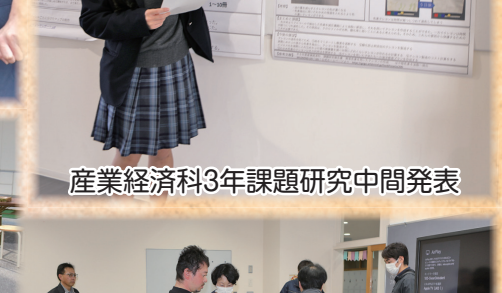


10月18日  
一般公開

産業経済科3年課題研究中間発表



とっても素敵な外装です



PTAブースも大盛況でした!



11月2日

# PTA研修旅行in蔵王

今年も去年に引き続き、2年目の研修旅行に参加しました。今回は蔵王のお釜を見学し、雄大な自然を体感することができました。研修旅行は意外にも先生方との交流が楽しく、バスの中では気仙沼のおすすめの飲食店を紹介し合う発表会をし、ベスト3位までを決めたりして先生方と和やかな雰囲気でも打ち解けることができました。前半ははりきりすぎて、後半少し疲れてしまったところもありましたが、こうした体験は参加しないと分からない特別な楽しさだと思います。

来年も是非多くの方に参加していただき、この貴重な経験を共有して欲しいと思います。今年も楽しい研修旅行を計画してくださった進路対策委員の先生方、委員会の皆さんありがとうございました。



御釜が絶景でした



蔵王酪農センターで記念撮影

Travel Guide		MEMBER
SCHEDULE		
7:00 発	宮北バス営業所	バス
7:05 発	JR気仙沼駅	
7:10 発	田中トンネル駐車場	バス
7:15 発	友愛団地入り口バス停	
7:20 発	気仙沼向洋高校	バス
7:30 発	津谷ファミリーマート	
7:45 発	歌津ファミリーマート	バス
11:20~12:20	蔵王山頂レストハウス 昼食・御釜見学	
13:10~14:10	蔵王酪農センター 買い物等	バス
16:50 着	歌津ファミリーマート	
17:05 着	津谷ファミリーマート	バス
17:15 着	気仙沼向洋高校	
17:20 着	友愛団地入り口バス停	バス
17:25 着	田中トンネル駐車場	
17:30 着	JR気仙沼駅	バス
17:40 着	宮北バス営業所	

## 編集後記



気仙沼向洋高校PTA会報「こよう」No.49をご覧いただきありがとうございます。原稿執筆、写真提供など多くの皆様の支えによって、今年も無事に発行することができました。ご協力いただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。

この会報をとおして、子どもたちの活気あふれる姿や先生方の子どもたちに対する思いが、より多くの皆様へ届いていけば幸いです。次回号もどうぞご期待ください。

調査広報委員会

## PTA調査広報委員会

※( )内は支部名

委員 佐々木 孝志 (気仙沼)	委員 佐々木 孝志 (気仙沼)
副委員 山 惠 (松岩)	副委員 山 惠 (松岩)
委 員 西 藤 望美 (新階)	委 員 西 藤 望美 (新階)
委 員 佐 藤 望美 (新階)	委 員 佐 藤 望美 (新階)
委 員 島 綾美 (唐桑)	委 員 島 綾美 (唐桑)
委 員 片 桐 あい (新月)	委 員 片 桐 あい (新月)
委 員 尾 形 美保 (階上)	委 員 尾 形 美保 (階上)
委 員 谷 地 美奈 (階上)	委 員 谷 地 美奈 (階上)
委 員 堀 内 佳奈 (本吉)	委 員 堀 内 佳奈 (本吉)
委 員 阿 部 史佳 (本吉)	委 員 阿 部 史佳 (本吉)
委 員 小 野 百仁 佳一	委 員 小 野 百仁 佳一
委 員 渡 邊 佳一	委 員 渡 邊 佳一